

センター通信

地域が育てる子どもの健全育成



摂陽地区福祉のまちづくり協議会副会長
木ノ本自治会長 瀧内和之

現代の日本社会は、少子・高齢化や人間関係の希薄化が進み、これまでの社会制度も含め大きな変革が求められているように思います。特に近年全国で頻発している、子供を巻き込んだ理解し難い犯罪を見るにつけ、地域社会の崩壊が痛感されます。

特に、何かあるとその責任を追及するが、それに至る経過は無視し、他人には非常に不寛容で、自分はそのようなことにはタッチしないといった風潮が強くなっています。

私の住んでいる地域は、昭和40年代に入って住宅が次々と建てられて形成された住宅地で、住民の多くは他のいろいろの地域から移って来られた人達です。特に高度経済成長の中、住民の転入居が繰り返され、しだいに高齢者が多くなり、今では高齢化率も39.5%となっています。また、老々介護が非常に多くなり、住民の価値観も多様化し、横の繋がりが出来にくくなっています。こうした状況は、子供の健全育成という点においても大きな障害となるのではないのでしょうか。

自治会としても、地域での人と人との繋がり「絆」を大切にし、何か困ったことがあると「お互い様」と言え、世代を超えて助け合えるような地域となるよう、「木ノ本地域支え合い福祉マップ」づくり等に取り組んでいます。

私は、岡山県の小さな村に生まれ、そこで小学校1年生まで過ごしました。その村は50戸ほどの集落で、村の中には5つほどの姓しかなく、全て名か屋号で呼び合うようなところでした。それこそ屋根の葺き替えやお祭りの時は、村の者総出で対応していました。従って、村人は皆知り合いで、子育て・老人介護等日常生活全般について、家族だけでなく誰かが助けてくれていました。つまり「村落共同体」の中で日々過ごしており、私はどちらかというとな腕白な子どもだったので、何か悪いことすれば、誰かれ関係なく叱ってくれました。このように、昭和30年代を舞台にした映画「3丁目の夕日」のような時代背景が当たり前の中で、子ども時代を過ごしました。

近年、三世代同居は殆ど見られなくなり、親と子の2世代家族が増え、しかも近所の人との繋がりがなく、孤独・孤立している世帯が多くなってきています。大人になりきれない親が、子どもが起こした問題行動を警察や学校の責任にしたり、親としてそれに関わろうとしなかったりすることが増えているような気がします。

子どもの健全育成や高齢者の介護問題等を見るにつけ、再度、「互助」という、地域に住む人々がお互いに支え合う社会がますます必要であると思います。つまり「村落共同体」「長屋文化」のようなもので、それは昔「村落共同体」の中で育った経験のある現在の60歳~70歳代の人の務めでもあると思っています。

～ありがとうございました～
少年補導委員の皆様
 ～よろしく願いいたします～

4月22日(金)に、『平成28年度伊丹市少年補導委員感謝状贈呈式・委嘱状交付式』を伊丹市立労働福祉会館(スワンホール)で開催しました。

今年度は少年補導委員の改選の年度(任期2年)に当たり、藤原市長より退任されました61名に感謝状贈呈、そして、市内134名の少年補導委員の皆様新たに委嘱状が交付されました。

退任されました少年補導委員の皆様、長期にわたり青少年の健全育成にご尽力いただきましてありがとうございました。また、新しく少年補導委員に就いていただきました皆様には、今後2年間青少年の健全育成・非行防止等にご協力いただきますようお願いいたします。



式に続いて、伊丹市少年補導委員連合会総会が開催されました。

市民の皆様には、青少年の健全育成のため、伊丹市少年補導委員の活動に、今後ともご理解とお力添えをいただきますようお願いいたします。

以下、本年度の新体制と活動計画を紹介します。

<平成28年度少年補導委員連合会新体制>

- 会長 林 明美 氏 (花里)
- 副会長 足立 博子 氏 (昆陽里)
- 〃 平野 信次 氏 (瑞穂)
- 〃 古江 健一郎 氏 (鈴原)
- 監事 吉田 保 氏 (笹原)
- 〃 赤井 要 氏 (瑞穂)
- 顧問 宮北 涼子 氏 (前会長)
- 理事 (各ブロック委員代表 17名)

<28年度活動計画> (概略)

- (1) 補導活動「愛の一声運動」の充実
 - ・地区別街頭補導(朝・昼・夜 年間約48回)
 - ・繁華街特別補導・夜間特別補導
 - ・隣接市との合同補導等
- (2) 研修活動の推進
 - ・各種研修会(実務研修会、人権研修会、健全育成研修会等)への参加
- (3) 関係機関・団体との連携
 - ・警察・学校・自治会等との情報交換
 - ・青少年育成協会・青少年を守る店連絡協議会との連携等
- (4) 広報・啓発活動の推進
 - ・「少年を守る日」(毎月10日)の広報活動
 - ・啓発チラシやポスターの配布
 - ・少年補導委員活動のPR等
- (5) 環境浄化活動の推進
 - ・環境の総点検活動(11月～12月)
 - ・たまり場や危険箇所の解消等

◆街頭補導の件数 暫定値 《平成28年4月》

	幼小	中	高他	大人	計
声かけ・会話等	244	43	18	50	355
あいさつ	168	17	2	61	248
遊びに関して	4	0	0	0	4
ぐ犯・不良行為	0	0	0	0	0
交通に関して	13	2	11	35	61
計	17	2	11	35	65

◆電話・来所相談の件数 《平成28年4月》

	電話相談	来所相談
件数	10	0
前月比	-6	-9
累計	10	0

◆有害図書類回収状況 《平成28年4月》

	数量	前月比	累計
有害図書	162	-19	462
有害DVD等	300	-26	
計	462	-45	

白ポスト設置場所(市内16カ所)

裁判所前、JR北伊丹駅駐輪場、バラ公園バス停、荒牧バス停
 北センター前、中野西公園、山田バス停、車塚公園内
 阪急稲野駅、南センター前、阪急新伊丹駅、女性児童センター
 阪急伊丹駅、いたみホール、西桑津バス停、JR伊丹駅1階

5月の主な行事

6日(金)	伊丹市少年補導委員連合会役員会・定例理事会	13日(金)	県青少年補導委員連合会総会・理事会
10日(火)	少年を守る日 一斉補導・市内広報	17日(火)	伊丹市少年進路相談員連絡会
11日(水)	伊丹市少年補導委員新任研修会	19日(木)	伊丹市少年育成協会総会・研修会
13日(金)	県青少年補導センター連絡協議会総会	20日(金)	合同教育相談
		24日(火)	伊丹市青少年を守る店連絡協議会役員会
		26日(木)	有害図書回収

※「センター通信」へのご意見ご感想を、伊丹市立少年愛護センター(Tel:780-3540)までお寄せください。